

リチウム電池の劣化診断技術

日時 2016年4月26日(火) 12:45~16:30

主催 (株)R&D支援センター

会場 商工情報センター(カメラプラザ)9F会議室 東京都江東区亀戸2-19-1

定員:30名

受講料 49,980円 ※資料付

※満席になり次第、

募集を終了させていただきます。

(税込)

※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

講師 【第1部】石川 隆張(氏) 明治大学 理工学部 総合理工学科 電気電子工学系 教授 博士(工学)

【第2部】有馬 理(氏) 大和製薬(株) 技術管理部新規事業室 クループレッダー

趣旨

【第1部】組電池の外部特性分析
・200台あまりのEV急速充電時のログの紹介

【第2部】近年、余剰電力対策や停電時バックアップ用途などで家庭用産業用の導入が進んでいる定置用蓄電池ですが、使用中に事故に使うためにはリアルタイム劣化診断によって電池容量や放電状態を推定する必要があります。本講演では、簡易・低コストかつ精度の高い劣化診断手法について、寿命・劣化の基本事項を解説いたします。

プログラム

【第1部】EV急速充電時のリチウム電池の劣化分析

1. はじめに
2. 劣化診断で必要と思われる推定精度
3. 二次利用のための電池に関するデータ
4. 蓄電池データの例
5. 劣化診断方法の一例
6. おわりに

【第2部】定置用蓄電池に搭載した組電池のリアルタイム劣化診断

1. リチウムイオン電池の寿命と劣化
 - 1.1. リチウムイオン電池の寿命とは
 - 1.2. リチウムイオン電池の劣化 症状と要因
 - 1.3. リチウムイオン電池ユーザーの現場における課題
2. 定置用蓄電システムのリアルタイム劣化診断
 - 2.1. 蓄電システムへの劣化診断システム導入の際の課題
 - 2.2. 課題を踏まえた着眼
 - 2.3. リアルタイム劣化診断手法のご紹介

『リチウム電池の劣化診断技術』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号	FAX		
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 ・お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。 ・Eメールまたは郵送でセミナー・書籍ののご案内をお送りします。 ・ご案内は(株)R&D支援センターおよびS&T出版(株)からお送りします。			
		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-5857-4811)へご一報下さい。

■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。